

部局における教育・研究・診療・産学連携・社会貢献・国際化における特筆すべき取組と成果

(1) 特筆すべき教育活動の取組と成果（大学教育改革の支援プログラム（GP等）の採択状況と取組、グローバルCOE等の大型プロジェクトの採択・実施状況などを含む。）

主体的な学びの場として機能

平成 22 年度から全学的基盤経費予算の配分により、本館の開館時間の大幅延長運用を開始した結果、開館時間数(有人)は国立大学ではトップとなり、学生の学修時間を確保するための主体的な学びの場として十分機能している。平成 23 年度の入館者数は、震災等の影響もあり前年度比 1 割減となったが、年間で約 61 万人にもものぼっている。

学生用図書の継続整備

総長裁量経費を獲得し、継続目標としていた学生 1 人当たり 1 冊を大幅に上回る(合計約 23,000 冊)学生用図書整備を実現した。全学の図書の貸出冊数は、一昨年度から 20%増加した平成 22 年度並の実績を残した。

学生への学習支援

第 2 セメスターで、全学教育科目「『レポート力』アップのための情報探索入門」を企画・開講した。本館・分館・図書室では、情報探索方法を中心とした学習支援の講習会を実施し、全学で合計約 1,400 名が参加した。平成 23 年度からは新たに「レポート作成法」セミナーを企画・実施し、合計 61 名の参加があった。また、英語多読法を取り入れた教員とタイアップして、多読用の教材を集めたリーダーズコーナーを新たに設置した。

(2) 特筆すべき研究・診療・産学連携活動の取組と成果

東北大学機関リポジトリ(TOUR)のコンテンツ拡充を進め、学内の教育・研究成果(Research and Education)の登録件数は 4 万 1 千件以上、貴重資料(Rare Collection)の登録件数は 1 万 6 千件以上となった。登録件数としては全国第 5 位、ダウンロード件数では全国第 2 位となっている。

(3) 特筆すべき社会貢献、国際化等の活動の取組と成果

創立 100 周年企画展の開催

国宝「史記」類聚国史をはじめとした、附属図書館所蔵の貴重資料による記念展示会「煌めきのコレクション」を開催した。入場者数は例年に比較して倍増し、学内外から 1,700 名を超える観覧者数となった。

「東北大ゆかりコレクション」の設置

東北大学にゆかりのある著名人の活躍を広く紹介するため、著作や関連資料を集めた「東北大ゆかりコレクション」を、本館 1 号館メインホールに設置した。

震災ライブラリーの設置

平成 24 年 3 月、本館 1 号館メインホールに震災ライブラリーを設置し、東日本大震災を中心とした震災関係資料の公開を開始した。これにあわせて、図書館合同キャンペーン「震災記録を図書館に」の実施も開始した。

「避難所へ本を」プロジェクトを実施

平成 23 年 4 月から、東日本大震災の避難所の方々に書籍を届けるプロジェクトを開始し、地域のボランティアグループと連携・協力して約 3 千冊を避難所に届けた。

(4) その他、特筆すべき活動等の取組と成果

創立 100 周年記念事業の実施

附属図書館の創立 100 周年を記念して式典を実施するとともに、作家の瀬名秀明氏による記念講演会を開催した。式典では、ダーウィン『種の起源』初版本の贈呈があった。

また、100 周年記念古本市では、約 3 千冊の不要図書を販売し、多くの地域住民や学生が買い求める姿が見られた。

図書館サービス評価調査の実施

100 周年記念事業の一環として、国際標準的な図書館サービス評価調査を実施した。そのデータなどをもとに、平成 24 年度以降、自己点検・評価と外部評価を実施する予定である。